

2 8 6 - 1 8 7 2
令和3年11月25日

一般社団法人宮崎県建築士会 会長
一般社団法人宮崎県建築士事務所協会 会長
一般社団法人宮崎県建築業協会 会長
一般社団法人宮崎県建築協会 会長 殿

宮崎県県土整備部建築住宅課長
(公 印 省 略)

耐震改修工事・耐震診断の現状把握のためのアンケート調査への協力に
ついて (依頼)

霜秋の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から県の建築行政の推進に特段の御理解と御協力をいただきありがとうございます。

さて、県は、南海トラフ地震の発生が懸念される中で「命を守る耐震化」を加速するために、市町村と連携して昭和56年5月以前に着工された耐震性が不足する木造住宅の耐震化に取り組んでおり、その結果、市町村における所有者等へのダイレクトメール等によって耐震診断件数は増加傾向にあります。しかし、一方で、改修工事に至るものの割合が減少する傾向が見られ、その要因は改修工事を実施できる事業者が少ないために所有者が依頼先を探しきれずに工事をあきらめることや、高額な改修工事費を所有者が負担しきれないことが考えられます。これらの課題を解決するため、県は、今年度、別添の「効果的な改修工法の担い手確保事業」において、耐震診断・設計等を得意とする設計事務所と工事を得意とする工務店が連携する場をつくり、所有者等が工事を進めやすくなるように工事費の低減を含む改修工事に関する勉強会を実施することとしております。この検討の一環として、工事の現状や参入における課題等を把握したいため、下記のとおりアンケート調査を実施します。

つきましては、貴会会員に別紙を周知いただき、アンケートに御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

記

- 1 アンケートの案内
別紙のとおり
- 2 アンケートの方法
県の電子申請システムから、令和3年12月15日までに御回答をお願いします。
- 3 送付資料
アンケートの案内 (会員への配布用)
「効果的な改修工法の担い手確保事業」の概要
アンケート調査票 (参考)

担当：建築指導担当 畑中・小野
電話」0985-26-7195

耐震改修工事・耐震診断の現状把握のためのアンケート調査に御協力ください。

県は、南海トラフ地震の発生が懸念される中で「命を守る耐震化」を加速するために、市町村と連携して昭和56年5月以前に着工された耐震性が不足する木造住宅の耐震化に取り組んでいます。その一方で、改修工事を実施できる事業者が少ないために所有者が依頼先を探しきれずに工事をあきらめることや、高額な改修工事費を所有者が負担しきれないことから、改修工事が進まない現状があります。県は、この改善に向けて、耐震診断・設計等を得意とする設計事務所と工事を得意とする工務店が連携する場をつくり、所有者等が工事を進めやすくなるように工事費の低減を含む改修工事に関する勉強会を実施することとしておりますが、その検討の一環として、工事の現状や参入における課題等を把握したいため、以下のアンケート調査を実施します。

お忙しいところ、大変恐縮ですが御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

1 アンケートの方法と種類

以下のうち、関係するアンケートについて、URLまたはQRコードから県の電子申請システムに入り、御回答ください。

(1) 耐震改修工事の現状把握のためのアンケート

(工事の経験がある工務店様向け)

工事の経験がある工務店の方はこちらに御回答ください。

URL :

<https://shinsei.pref.miyazaki.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=0c1TqeBy>



(2) 耐震改修工事の現状把握のためのアンケート

(工事を行っていない工務店様向け)

工事を行ったことがない又は以前に工事を行って以降工事を行っていない工務店の方はこちらに御回答ください。

URL :

<https://shinsei.pref.miyazaki.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=er7Z2hPr>



(3) 耐震診断の現状把握のためのアンケート

(診断を行っていない方向け)

耐震診断を行っていない方又は以前に行って以降診断を行っていない方はこちらに御回答ください。

URL :

<https://shinsei.pref.miyazaki.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=IqHiB41o>



2 アンケート期間

令和3年11月29日(月)から令和3年12月15日(水)まで

※「QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です」

【別添2】 工事の経験がある工務店向けの改修工事に関するアンケート

📌 環境依存文字について

耐震改修工事の現状把握のためのアンケート（工事経験有り工務店様向け）

南海トラフ地震がいつ起こってもおかしくない中、県と市町村は「命を守る耐震化」のために昭和56年5月以前に着工された耐震性が不足する木造住宅の耐震化に取り組んでいます。その一方で、所有者等が高額な工事費を負担しきれないことや依頼先が分からないことなどにより、耐震改修工事が進んでいない現状があります。

県は、このような状況の改善に向けて、設計事務所や工務店とともに検討を進めておりますが、改修工事の現状を把握するために以下のアンケートを実施いたします。お忙しいところ大変申し訳ありませんが、御協力いただきますようお願いいたします。

なお、木造住宅の耐震化のための補助事業の内容については、以下の「別紙木造住宅耐震化事業の概要」を御覧ください。

[別紙木造住宅耐震化事業の概要](#)

ブラウザの「戻る」「更新」ボタンを使用すると正しく処理できませんので、使用しないでください。

必須 印は必須項目です。必ずご記入ください。

60分間通信がない（ページ移動がない）場合、タイムアウトとなり入力内容が破棄されます。ご記入に時間がかかる場合は一時保存をご利用ください。

【1】 あなたの所属する会社名

アンケートに回答されるあなたが所属する会社名を御記入ください。
(200文字まで)

【2】 回答者の氏名

アンケートに回答されるあなたの氏名を御記入ください。
(200文字まで)

【3】 勤務先の電話番号

あなたが勤務される会社の電話番号を御記入ください。
(ハイフン区切り) 入力例:012-345-6789

【4】 勤務先の会社の職域

あなたが勤務される会社の職域を御選択ください。
「その他」を選択された場合は、下の欄に詳細を御記入ください。

- 工務店、建設会社
- 設計事務所
- その他

[5] 通常手がけている業務

あなたが勤務される会社が通常手がけている業務の概要を御記入ください。
(全角200文字まで)

[6] 令和2年度の工事件数

令和2年度に実施した耐震改修工事件数を御記入ください。
(数字5文字まで)

 件

[7] 令和1年度の工事件数

令和1年度に実施した耐震改修工事件数を御記入ください。
(数字5文字まで)

 件

[8] 平成30年度の工事件数

平成30年度に実施した耐震改修工事件数を御記入ください。
(数字5文字まで)

 件

[9] 過去3年間の工事の平均金額

設問6～8に記載した耐震改修工事の平均金額を御記入ください。
(数字10文字まで)

 円

[10] 過去3年間の工事の最低金額

設問6～8に記載した耐震改修工事の最低金額を御記入ください。
(数字10文字まで)

 円

[11] 過去3年間の工事の最高金額

設問6～8に記載した耐震改修工事の最高金額を御記入ください。
(数字10文字まで)

 円

[12] 過去3年間の工事のうち補助金を利用したものの件数

設問6～8に記載した耐震改修工事のうち、補助金を利用したものの件数を御記入ください。
(数字5文字まで)

 円

[13] 過去3年間の工事のうち工事費が最も高かった工事の概要

設問6～8に記載した耐震改修工事のうち、最も工事費が高かった工事の概要を御記入ください。(例：屋根を瓦から金属葺きに変更。外壁を全て撤去後に壁を補強。など)
(200文字まで)

【14】 過去3年間の工事のうち工事費が最も低かった工事の概要

設問6～8に記載した耐震改修工事のうち、最も工事費が低かった工事の概要を御記入ください。（例：診断結果をより精密な方法に見直し。押し入れを補強。など）
(200文字まで)

【15】 耐震改修工事が進まない理由

耐震改修工事が進まない主な理由として考えられるものは次のうち何でしょうか。影響が大きいもの3つを選択して御回答ください。

(3個まで選択可能)

- 1 耐震改修工事に携わる事業者の不足
- 2 所有者がどこに依頼すればよいか分からない
- 3 工事費が高額で所有者が負担しきれない
- 4 市町村の予算不足により補助金待ちとなっている
- 5 補助の手続きが複雑で申請が困難
- 6 その他 →設問【16】に御記入ください。

【16】 設問【15】のその他の内容

設問【15】で選択した「その他」の内容を御記入ください。
(200文字まで)

【17】 工事費を低減するために必要なこと

【テストモード】

所有者の多くが高齢者であり工事を進めるには工事費を低減し自己負担額を縮小することが必要と考えられます。工事費を低減するためには何が必要でしょうか。下欄に御記入ください。
(200文字まで)

【18】 耐震改修工事が進むために必要なこと

耐震改修工事が進むようになるためには何が必要でしょうか。下欄に御記入ください。
(200文字まで)

確認

お問い合わせ先	
部署名	県土整備部建築住宅課
電話番号	0985-26-7195
メールアドレス	ono-yasukazu@pref.miyazaki.lg.jp

【別添3】工事の経験がない工務店向けの改修工事に関するアンケート

① 環境依存文字について

耐震改修工事の現状把握のためのアンケート（工事を行っていない工務店様向け）

南海トラフ地震がいつ起こってもおかしくない中、県と市町村は「命を守る耐震化」のために昭和56年5月以前に着工された耐震性が不足する木造住宅の耐震化に取り組んでいます。その一方で、所有者等が高額な工事費を負担しきれないことや依頼先が分からないことなどにより、耐震改修工事が進んでいない現状があります。

県は、このような状況の改善に向けて、設計事務所や工務店とともに検討を進めておりますが、改修工事の現状を把握するために以下のアンケートを実施いたします。

お忙しいところ大変申し訳ありませんが、御協力いただきますようお願いいたします。

なお、木造住宅の耐震化のための補助事業の内容については、以下の「別紙木造住宅耐震化事業の概要」を御覧ください。

[別紙木造住宅耐震化事業の概要](#)

ブラウザの「戻る」「更新」ボタンを使用すると正しく処理できませんので、使用しないでください。

必須 印は必須項目です。必ずご記入ください。

60分間通信がない（ページ移動がない）場合、タイムアウトとなり入力内容が破棄されます。ご記入に時間がかかる場合は一時保存をご利用ください。

【1】あなたの所属する会社名

アンケートに回答されるあなたが所属する会社名を御記入ください。
(200文字まで)

【2】回答者の氏名

アンケートに回答されるあなたの氏名を御記入ください。
(200文字まで)

【3】勤務先の電話番号

あなたが勤務される会社の電話番号を御記入ください。
(ハイフン区切り) 入力例:012-345-6789

【4】勤務先の会社の職域

あなたが勤務される会社の職域を御選択ください。
「その他」を選択された場合は、下の欄に詳細を御記入ください。

- 工務店、建設会社
- 設計事務所
- その他

[5] 通常手がけている業務

あなたが勤務される会社が通常手がけている業務の概要を御記入ください。
(全角200文字まで)

[6] 耐震改修工事に取組まない理由

御社が耐震改修工事が取組まない理由として考えられるものは次のうち何でしょうか。最も大きいと思われるもの3つを選択して御回答ください。

(3個まで選択可能)

- 1 所有者等から問い合わせや依頼がない
- 2 仕事として継続できるか分からないものには取組みにくい
- 3 営業先が分からないため仕事になるか分からない
- 4 市町村の予算不足により件数が限られ仕事にならない
- 5 補助の手続きが複雑で手間がかかる
- 6 どのように始めればよいか分からない
- 7 工事費が把握しにくく変動することで、所有者等とトラブルになる恐れがある
- 8 その他 →設問【7】に御記入ください。

【テストモード】 設問【6】のその他の内容

設問【6】で選択した「その他」の内容を御記入ください。
(200文字まで)

[8] 耐震改修工事が進むために必要なこと

耐震改修工事が進むようになるためには何が必要でしょうか。下欄に御記入ください。
(200文字まで)

確認

お問い合わせ先	
部署名	県土整備部建築住宅課
電話番号	0985-26-7195
メールアドレス	ono-yasukazu@pref.miyazaki.lg.jp

【別添4】耐震診断を行っていない方向けの耐震診断に関するアンケート

[環境依存文字について](#)

耐震診断の現状把握のためのアンケート（診断を行っていない方向け）

南海トラフ地震がいつ起こってもおかしくない中、県と市町村は「命を守る耐震化」のために昭和56年5月以前に着工された耐震性が不足する木造住宅の耐震化に取り組んでいます。耐震化を進めるには、耐震診断が多く行われることが必要ですが、進んでいないのが現状であり、診断者も不足する状況が見られますので、耐震診断の現状を把握するために以下のアンケートを実施いたします。お忙しいところ大変申し訳ありませんが、御協力いただきますようお願いいたします。

なお、木造住宅の耐震化のための補助事業の内容については、以下の「別紙木造住宅耐震化事業の概要」を御覧ください。

[別紙木造住宅耐震化事業の概要](#)

ブラウザの「戻る」「更新」ボタンを使用すると正しく処理できませんので、使用しないでください。

必須 印は必須項目です。必ずご記入ください。

60分間通信がない（ページ移動がない）場合、タイムアウトとなり入力内容が破棄されます。ご記入に時間がかかる場合は一時保存をご利用ください。

【1】 あなたの所属する会社名

アンケートに回答されるあなたが所属する会社名を御記入ください。
(200文字まで)

【2】 回答者の氏名

アンケートに回答されるあなたの氏名を御記入ください。
(200文字まで)

【3】 勤務先の電話番号

あなたが勤務される会社の電話番号を御記入ください。
(ハイフン区切り) 入力例:012-345-6789

【4】 勤務先の会社の職域

あなたが勤務される会社の職域を御選択ください。
「その他」を選択された場合は、下の欄に詳細を御記入ください。

- 工務店、建設会社
 設計事務所
 その他

【5】 通常手がけている業務

あなたが勤務される会社が通常手がけている業務の概要を御記入ください。
(全角200文字まで)

【6】耐震診断に取り組まない理由

あなたが耐震診断に取り組まない理由として考えられるものは次のうち何でしょうか。最も大きいと思われるもの3つを選択して御回答ください。

(3個まで選択可能)

- 1 所有者等から問い合わせや依頼がない
- 2 継続して受注できるか分からないものには取り組みにくい
- 3 耐震診断に手間がかかりすぎる
- 4 市町村の予算不足により件数が限られ仕事にならない
- 5 補助の手続きが複雑で手間がかかる
- 6 他に優先する仕事があり取り組めない
- 7 診断ソフト等設備投資をしてまで取り組む魅力がない
- 8 耐震診断は難易度が高いため、受託しない。
- 9 その他 →設問【7】に御記入ください。

【テストモード】設問【6】のその他の内容

設問【6】で選択した「その他」の内容を御記入ください。
(200文字まで)

【8】耐震診断が進むために必要なこと

耐震診断が進むようになるためには何が必要でしょうか。下欄に御記入ください。
(200文字まで)

確認

お問い合わせ先	
部署名	県土整備部建築住宅課
電話番号	0985-26-7195
メールアドレス	ono-yasukazu@pref.miyazaki.lg.jp

宮崎県電子申請システム